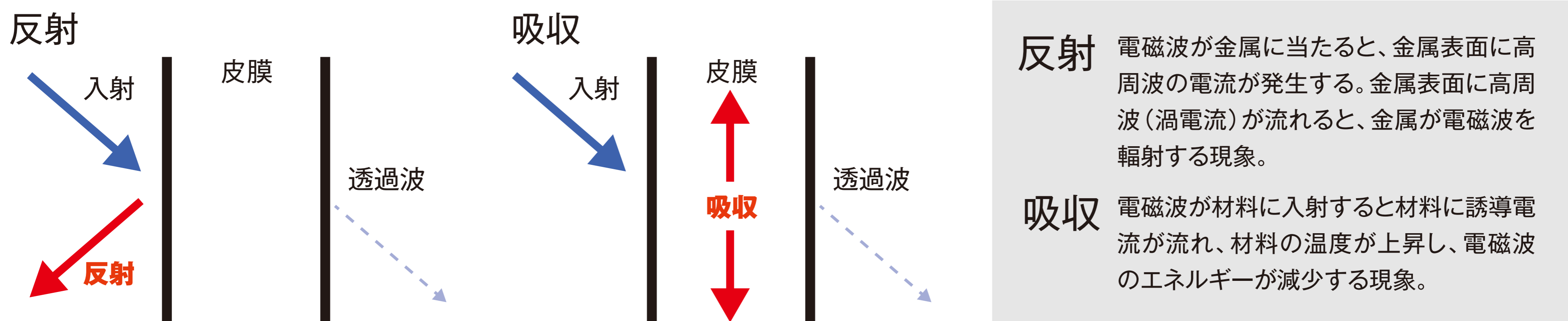


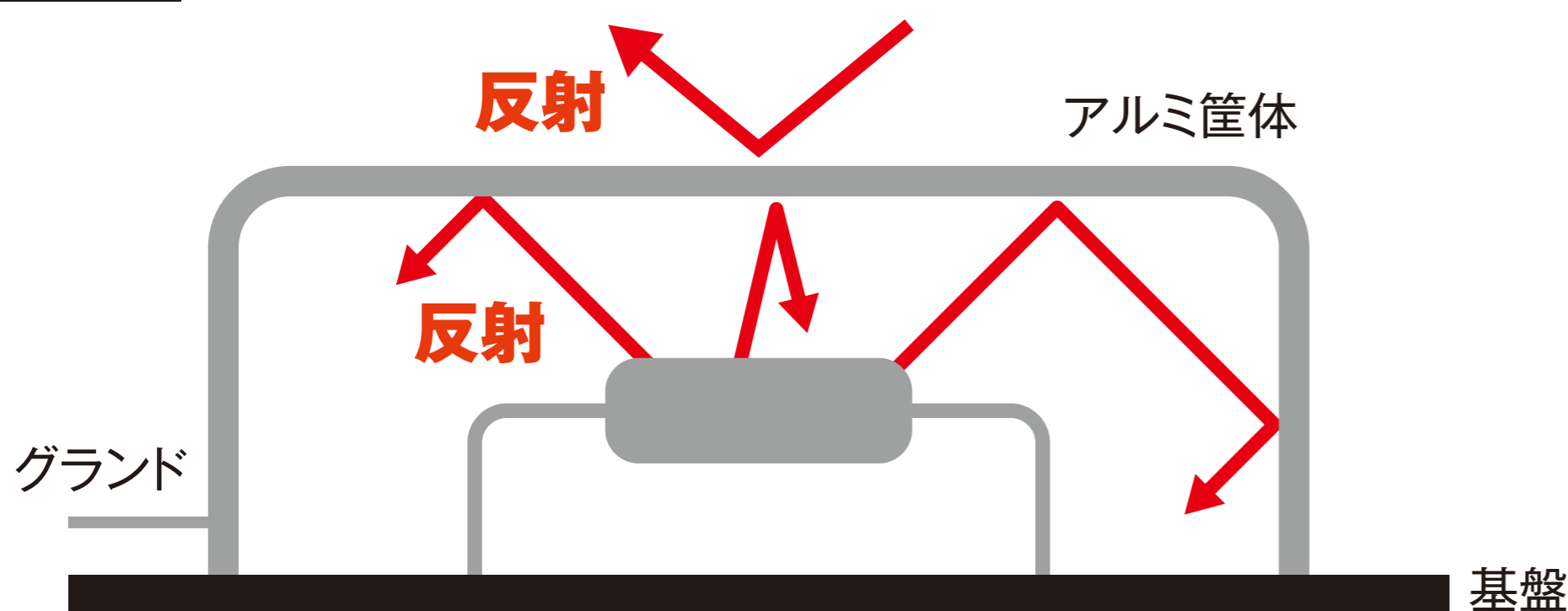
# 電磁波遮蔽溶射 筐体シールドのご提案

産業機器の電子制御化やワイヤレス化が進む今日、ノイズ対策や筐体・部品の軽量化が課題となっています。当社では、ノイズ対策、軽量化、量産性向上などの課題を溶射技術にて解決いたします。

## 電磁波の反射と吸収の仕組み



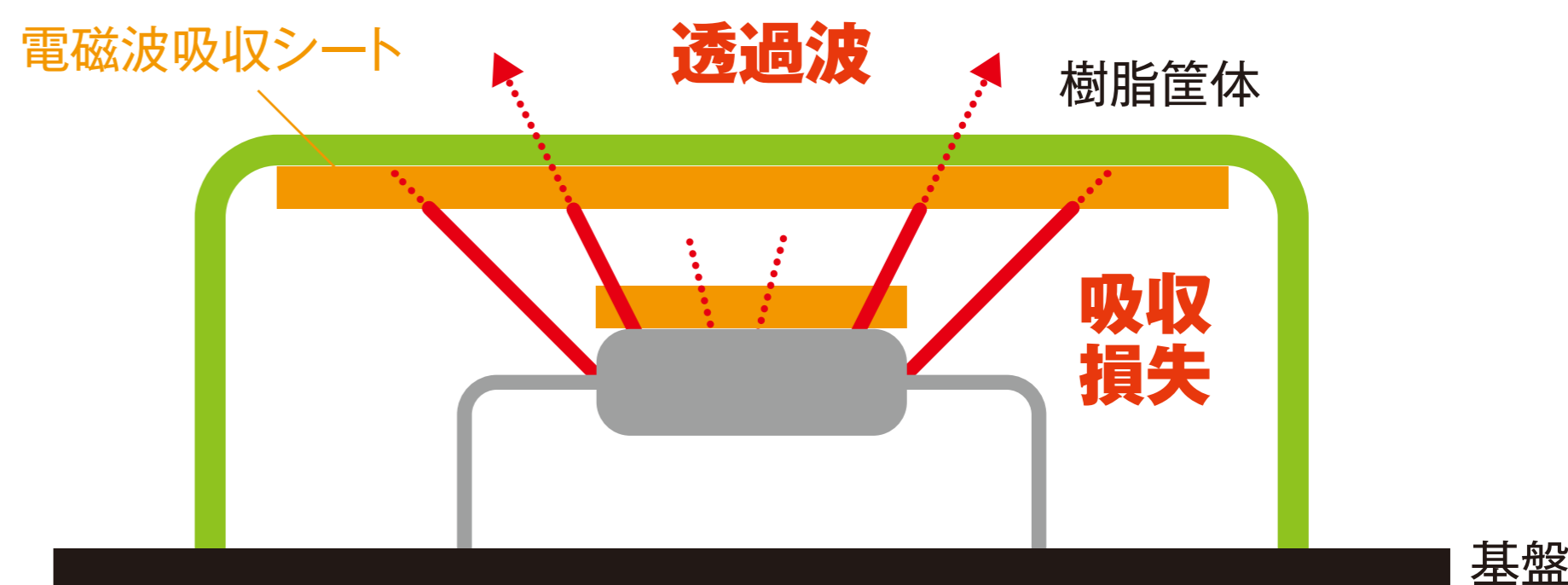
### 従来1 アルミ筐体 [反射のみ]



**課題**

- 外部からのノイズは防ぐことができるが、ノイズそのものはなくなる（自家中毒の可能性あり）
- 金属筐体の重量に課題

### 従来2 樹脂筐体+ノイズ吸収シート [吸収のみ]



**課題**

- 電波の透過を防ぎきれない
- シート貼り手間、ムラ

上記の課題を解決するコダマからの新提案

開発中

# ハイブリッド・ノイズ抑制コーティング

従来のアルミ筐体やノイズ吸収シートによるシールドの問題点を、ハイブリッド溶射皮膜により解消いたします。また溶射はスプレー方式の製法のため、複雑形状の筐体にもコーティングが可能です。

## 電磁波の [反射/吸収]

**解決**

反射・吸収により  
ノイズを防ぐ

## +αのメリット

樹脂筐体にシールド性を持たせ、製品の軽量化を実現

電磁波  
反射+  
吸収皮膜

